「福祉体験講座」

令和８年１月

龍ケ崎市社会福祉協議会では、市内の学校や地域コミュニティなどに、地域のボランティアや社会福祉協議会職員がお伺いし、「福祉体験講座」を実施しています。

ともに生きる力を育み福祉に関心を寄せるきっかけづくりとして、ぜひご利用ください。

地域のだれもが、かけがえのない存在として幸せにくらせるために…

福祉課題に 気づく
↓
解決法を 考える
↓
解決のために 行動する

「ともに生きる力」の育成

●下記の講座一覧をご覧いただき、お気軽にお声がけください。
また、一覧になくても「こんな取り組みをしたい」というご希望がありましたらご相談に応じます。

●できるだけ多くの候補日を上げていただくようにお願いします。
なお、ボランティアとの調整や準備があります。年間での実施予定以外で希望する場合は、お早めにご相談ください。

●所要時間は基本的に45分（30人程度）です。複数のクラスで連続して実施する際は、間に10分の休憩を設けてください。

●車いす体験、ボッチャ体験は主に体育館を、グラウンドゴルフ体験は校庭を使用します。夏季は高温になりますので、時期をずらしていただきますようお願いします。

体験名	内　容	
①車いす体験	車いすのしくみを知り、介助の操作方法、自走の操作方法を体験します。 車いすに乗っている人の気持ちを体験し、自分たちに何ができるのかを考えるきっかけとします。	
②アイマスク体験	スライドでの説明や、アイマスクでの折り紙体験などを通し、視覚障がいへの理解を深めます。 また、障がいのある方と交流し、普段の生活のことや手助けが必要なことを知り、自分たちに何ができるのかを考えるきっかけとします。	
③点字体験	視覚に障がいのある方の文字である点字の仕組みを学びます。 専用の道具（点字器）を使って、点字で自分の学校や名前を打つ体験を行います。 ※アイマスク体験と点字体験を合わせて体験することでさらに理解が深まります。	
④手話体験	聞こえない方、聞こえにくい方の言語である手話で、日常の挨拶や自己紹介の手話を体験します。 ろう講師とのコミュニケーションを通して手話への理解を深め、自分たちに何ができるのかを考えるきっかけとします。 ※４年生以上対象	
⑤障がい者疑似体験	発達障がいがある子どもたちの、不自由さや行動の意味・感じ方を「疑似体験」し、障がいの特性や接し方のコツ等を楽しく学びます。 ※４年生以上対象	
⑥ボッチャ体験	パラスポーツのひとつであるボッチャを体験し、障がいがある方への理解を目指します。	

体験名	内　容
⑦グラウンドゴルフ体験	誰もが楽しめるスポーツとして、市内でも高齢の方により活発に行われているグランドゴルフを体験します。
⑧ささえ愛体験	ご近所同士の助けあいを、カードゲームで楽しく体験します。 助けあいを身近に感じ「自分にもできることがある」ということに気付くことができます。

　その他にも、社会福祉協議会の事業（ボランティアなど各種）の説明なども、ご希望に合わせて実施することができます。お問い合わせください。

【その他、備品の貸し出しを行っています】

1．高齢者体験セット　サイズ【S・M・L】
2．車いす
3．点字版・点筆
4．アイマスク
5．白杖
6．手話学習DVD
7．募金箱（肩掛け）

1．高齢者体験セット

4．アイマスク

3．点字版・点筆

7．募金箱

【問い合わせ先】　**社会福祉法人　龍ケ崎市社会福祉協議会**

〒301-0836　龍ケ崎市3543番地
（龍ケ崎市役所保健福祉棟内）

TEL　０２９７（６２）５１７６
FAX　０２９７（６２）５５７５
ﾒｰﾙ　chiiki@ryu-shakyo.jp